

別紙【4】第38回日本パラ水泳選手権大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止策

以下の感染拡大防止策を徹底して実施します。要項ならびに参加上の注意事項（当連盟ホームページに掲載予定）と合わせてお読みください。

本大会は無観客で行います。会場への入場は原則選手のみとします。ただし、次の場合はエントリー時に申請があった場合に限り同行者として入場が可能です。

①介助が必要な場合または18歳未満の選手については1選手につき1名の同行者

介助が必要な選手とはC○EにA, Y, Tがある選手とS14の選手です。C○EにAのある選手で入退水介助に2名で介助する場合と、Tがある場合は1選手につき2名まで入場可能とします。18歳未満の選手でC○EにAまたはTがある場合の同行者は最大2名です。

②肢体不自由で知的障害者手帳等を合わせ持つ場合はエントリー時にその旨お申し出ください。

③JPSFに団体登録をしている団体で5名以上の参加がある場合、①、②の同行者以外に団体責任者として1名追加することが可能です。

いずれの場合であっても感染対策上、選手以外の入場は最小限にとどめてください。感染状況によってはさらに人数の削減をお願いする場合があります。

以下の入場の基準を満たした場合、ADカードをお渡しします。ADカードは会場内では常に携帯して（首から下げる等）ください。ADカードがない場合は会場に入場できません。

ADカードを受け取った後は、その日の起床時の体温を記入し、入館の検温時にご提示ください。

ADカードは各自最終日のお帰りの際にご返却してください(用紙のみ返却、ケースは持ち帰り)。

【入場の基準】

- (1) 参加選手、競技役員及びすべての入場者は参加当日ならびにその前14日間に次の項目について該当がある場合は入場をお断りします。参加初日に14日間の健康チェックシートを必ずご提出ください。
 - ・平熱を超える発熱(37.5℃以上を目安とする)
 - ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠感) 息苦しさ(呼吸困難)
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・下痢や頭痛
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居している人や身近な知人に感染が判明した、または感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 当日の検温で、表面温度計により37℃以上の場合には腋窩検温を行います。腋窩検温の結果、平熱を超える発熱である場合は入場をお断りします。
- (3) 新型コロナ感染症の状況によっては参加前72時間以内のPCR検査等の実施を要請する場合があります。検査費用については自己負担になります。



【全般的な留意事項】

- (1)参加者は「健康チェックシート(第38回用)」に参加初日の14日前から検温を含む健康状況を記載し、持参してください。強化指定選手、育成S指定選手はアスリート・ポートに入力したものを、プリントアウトして持参しても構いませんが、必ずペーパーで提出してください。
- (2)会場への出入りは最小限(1日に1回)にとどめてください。
- (3)会場で使用するマスクは不織布マスク(以下マスクとする)とします。マスク、体温計、衣類を入れるビニール袋などは各自で持参してください。
- (4)大会期間中、起床時の検温を行い、ADカードに記載の上、入館時の検温を受けてください。平熱を超える体温や体調が悪いときは勇気をもって、参加を中止してください。
- (5)「健康チェックシート」ならびにADカードは感染対策担当者が集約し、JPSF感染症対策部会において1か月保管します。必要時は公的機関に提出しますので、あらかじめご了解ください。
- (6)大会期間中、発熱を認めた場合は、その時点で参加を中止とし、すみやかに退館してください。発熱以外に感染症を疑う症状がある場合も同様に参加を中止し、退館していただきます。
- (7)参加者は参加14日前から感染の可能性が高いとされる場所への立ち寄りや、行動は慎んでください。
- (8)参加にあたり前もって厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAをインストールしてください。
- (9)開催地までの移動においても、十分な感染防止対策をとってください。
- (10)会場で体調不良となった場合はその場からすみやかに館内掲示にしたがい連絡してください。
- (11)その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示について従ってください。
- (12)大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、濃厚接触者の有無も含めて、主催者に連絡をしてください。(連絡先：(一社)日本パラ水泳連盟 神戸事務所)

【練習や競技会時の注意事項】

- (1)入館から退館時までの全ての場面で、人との距離をできるだけ2m以上(最低1m)をとって行動してください。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- (2)プール内でも他者との距離は2mを目安に(最低1m)保ってください。練習時各レーン内で待機する場合も、他者との距離を保ってください。メインプールは1レーン10人、ダイビングプールは1レーン5名を目安に使用してください。レーンの使用については当日の主催者の案内に従ってください。
- (3)館内では泳ぐときを除いて不織布マスクを着用してください。
- (4)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。アルコールにアレルギーがある場合は自分にあった消毒液を持参して手指消毒を実施してください。
- (5)大きな声での会話や応援は控えてください。
- (6)試合当日の練習時、プールサイドへの入場は、原則選手のみとします。許可された同行者は介助が必要な時のみプールサイドへお入りください。また、大きな声での指示は控えてください。
- (8)唾や痰を吐くことは極力行わないでください。吐く場合は排水溝に確実に入れ、多めの水で流してください。
- (9)練習用具やマット、デバイス、タオル等は共有しないで、各自で用意してください。
- (10)介助者がマスクなしの選手と接する場合は不織布マスクに加えフェイスシールドや眼鏡などで眼を保護することを推奨します。また、お互いに接触したら手指消毒をするなど、感染予防対応をとってください。ケアなどの接触は極力控えてください。トレーナーベッドの持ち込みは禁止します。
- (11)招集所で密にならないようレース開始予定時刻の10分前をめぐりに集まってください。または会場内の指示がある場合はその指示に従ってください。



- (12) レース直前までマスクを着用してください。外したマスクや衣類が直接かごに触れないようビニール袋等に入れてください。なお、レース前はマスクバンドの利用を推奨します。
- (13) レース直後の会話は控えてください。呼吸が落ち着くまでは他者との距離を保ち、呼吸が落ち着き次第マスクを着用してください。
- (14) 更衣室で使用した場所は、各自で消毒してください。消毒以外のごみは各自持ち帰ってください。
- (15) 熱中症にも留意し、水分補給を心がけ、他者との距離が保てる場合はマスクを外すなどの熱中症対策をとってください。
- (16) 介助者が競技エリアに入場する際はマスクを着用してください。介助者の服装は広告規定が適用されますので、お気をつけください。
- (17) 観覧席では2つ席を空けて、前列と重ならないように距離を確保して座ってください。
- (18) 観覧席ならびに観覧席後方の通路では食事はできません。食事は、指定場所(観覧席ダイビングプール側)で黙食してください。
- (19) トイレを流す時は蓋をして流してください。トイレ使用後は手洗いを丁寧に行い、各自タオルを持参してください。
- (20) 鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉し、各自でお持ち帰りください。またその他の各自の出したゴミもお持ち帰りください。
- (21) 自分の練習や競技が終了したら、速やかに会場から退館してください。
- (22) 会場内は適時換気を行います。室温が下がることがありますので、各自で保温に留意してください。
- (23) 「参加上の注意事項」に記載した入場時間や練習時間を守ってください。
- (24) 会場内の動線や案内に従って行動してください。
- (25) その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示について従ってください。

【競技役員等スタッフの注意事項】(上記以外に特別なことのみ記載)

- (1) 競技役員はマスクを着用し、必要に応じて、使い捨て手袋、フェイスシールド、アクリルパーテーション等を併用してください。
- (2) 控室が密にならないようにしてください。
- (3) 競技に使用する機器・機材は適時アルコールシート等で消毒をしてください。

【宿泊施設での注意事項】

- (1) それぞれの施設にて実施されている感染予防対策を遵守してください。
- (2) ホテル内で、ミーティング等で密にならないように各自で留意してください。
- (3) 室内の換気状況や乾燥に留意し、適度な湿度を保つようにしてください。

【その他】

- (1) やむなく外食する場合、感染対策が取られている飲食店を利用してください。また、席の座り方も留意してください。多人数での利用は控え、黙食を心がけてください。特にレース終了後は開放的になりやすいので、ご注意ください。
- (2) 大会参加に際しては、道中ならびに滞在中は、必要最低限の立ち寄り先としてください。

以上

安全・安心な大会の開催に向けて一人一人が感染防止策の徹底をお願いします。

(一社) 日本パラ水泳連盟 感染症対策部会



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター